



2020年2月26日

各 位

会社名 株式会社 十六銀行
代表者名 取締役頭取 村瀬 幸雄
(コード番号 8356 東証・名証第1部)
問合せ先 取締役執行役員 石黒 明秀
経営企画部長
電話番号 (058)265-2111

「第15次中期経営計画」の策定に関するお知らせ

当行では、2020年4月から2023年3月までの3年間を計画期間とする「第15次中期経営計画」を策定いたしましたので、概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 名 称

「第15次中期経営計画」

～未来へつなぐエンゲージメント～

2. 計 画 期 間

2020年4月～2023年3月（3年間）

3. 長 期 ビ ジ ョ ン

『ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ』

当行は、2017年4月より「第14次中期経営計画 All For Your Smile ころにひびくサービスを～2nd Stage～」に基づき、「エンゲージメント 1st」を行動基軸とし、「お客さまから必要とされ、お客さまとともに成長する金融グループ」を目指すために、営業変革と業務改革に取り組み、着実に成果が現れてきました。

地域金融機関を取り巻く環境をみますと、マイナス金利政策の長期化による利鞘の縮小に加え、デジタル化の進展と業種・業態を超えた競争の熾烈化により、地域金融機関のビジネスモデル自体が見直しを迫られています。また、地域経済は、人口減少や高齢化の進行と産業構造の変化や事業承継・後継者問題を背景とする企業数の減少により、将来的な市場規模の縮小が懸念されます。

こうした状況から、当行グループがこれからも地域にあり続け、地域とともに成長していくために、これまで取り組んできた営業変革と業務改革を受け継ぎつつも、新しいビジネスモデルへ転換することが求められています。

当行グループが、2020年4月より新たにスタートさせる「第15次中期経営計画～未来へつなぐエンゲージメント～」では、2027年10月の創立150周年を見据え、「ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」を長期ビジョンとしております。

本経営計画は、かかるビジョンを実現するためのファーストステップとして、「営業変革」、「業務・チャンネル変革」、「人材・組織変革」の3つの変革を柱とし、これを遂行することでビジネスモデルの転換をはかるとともに、ステークホルダーとの深度あるエンゲージメントを通じ、共通価値を創造してまいります。

4. 重点施策

(1) 営業変革

- 深度あるコンサルティングの実践
- 地域の持続的成長に向けた責務の遂行

(2) 業務・チャンネル変革

- 業務プロセスの再構築
- 最適なチャンネル体制の構築

(3) 人材・組織変革

- 職員一人ひとりの活躍支援
- グループ経営体制の高度化

5. 目標とする経営指標等

(1) 2022年度目標

項 目		目 標	備 考
収 益 性	当期純利益 (連結)	120 億円	親会社株主に帰属する 当期純利益
効 率 性	修正 O H R (単体)	67%台	$\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

(2) 長期的に目指す指標

項 目		目 標	備 考
収 益 性	R O E (連結)	5%以上	$\frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{期首期末平均自己資本}}$
健 全 性	自己資本比率 (連結)	10%以上	$\frac{\text{連結自己資本}}{\text{連結リスク・アセット等}}$

以 上

(添付資料) 「第 15 次中期経営計画概要図」

<本件に関するお問合せ先>

経営企画部ブランド戦略室 (広報担当) TEL(058) 266-2512

第15次中期経営計画

計画期間：2020年4月～2023年3月

長期ビジョン

ともに地域の未来を創造し、
ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ

未来へつなぐ

エンゲージメント

Engagement
to the future

■ 計数目標	
2022年度	
当期純利益 (連結)	120億円
修正OHR (単体)	67%台
■ 長期的に目指す指標	
ROE (連結)	5%以上
自己資本比率 (連結)	10%以上

